

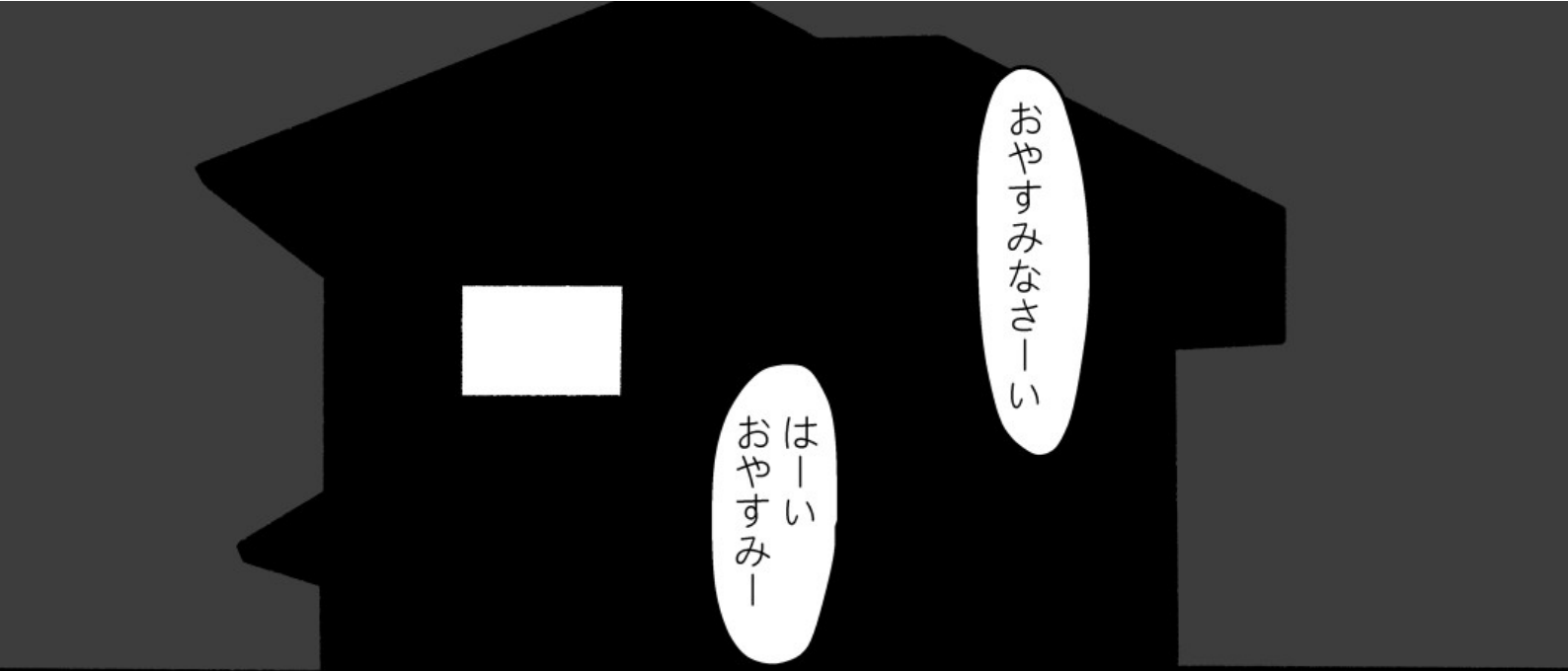
今夜また
霊の女が
現れる



今夜また
霊の女が
現れる

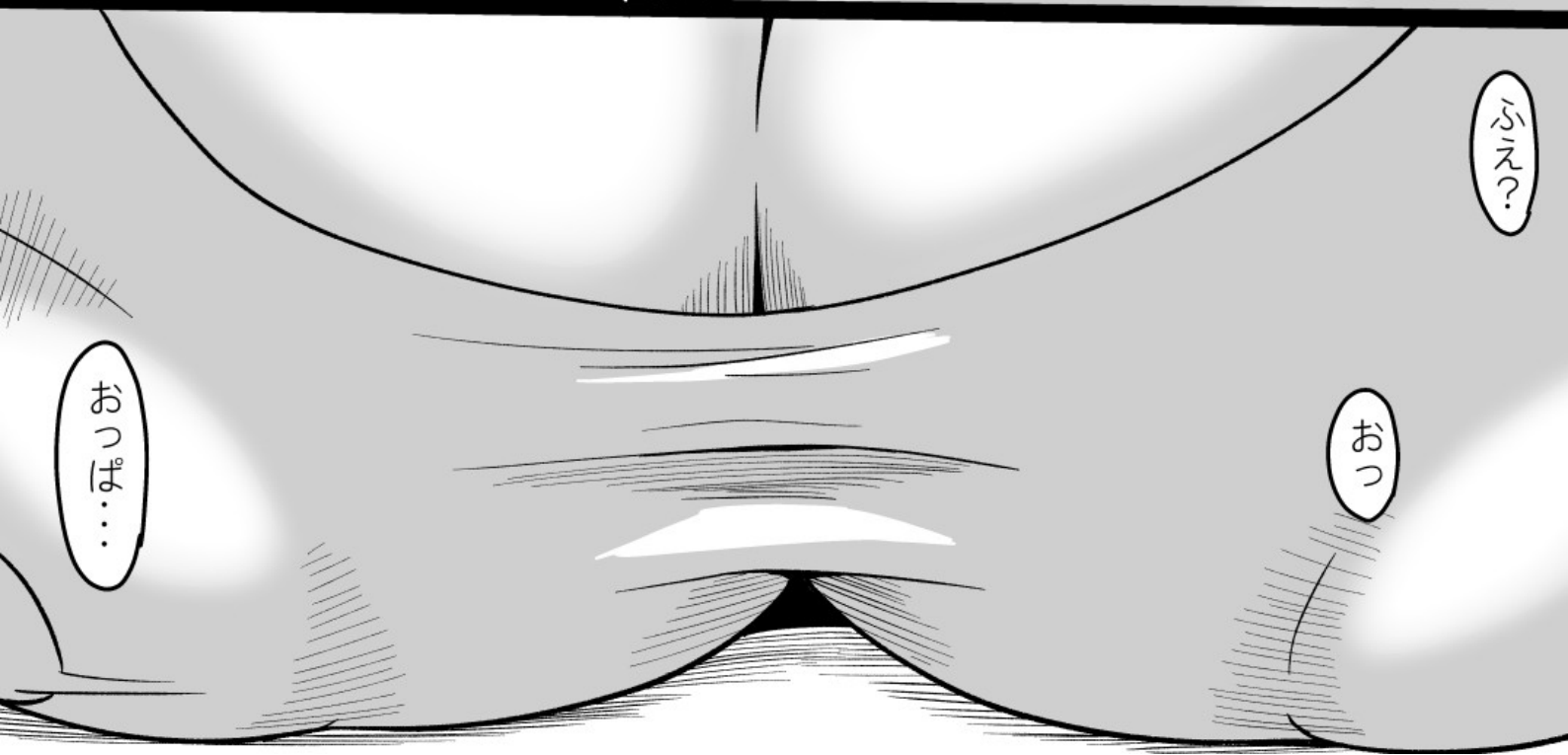


作者に無断でコピー、
再配布、改変などはご遠慮下さい。









ふん？

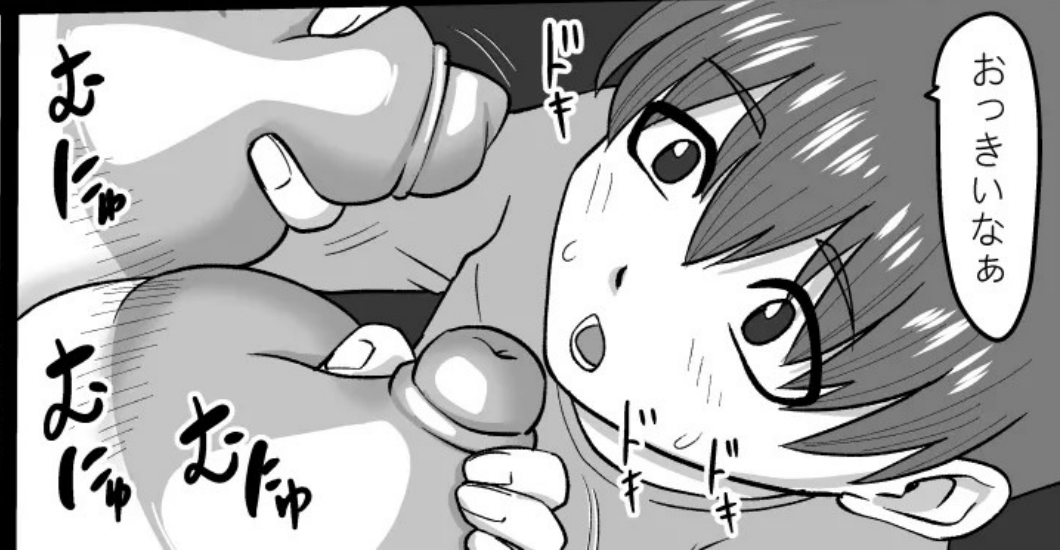
おっ

おっば...

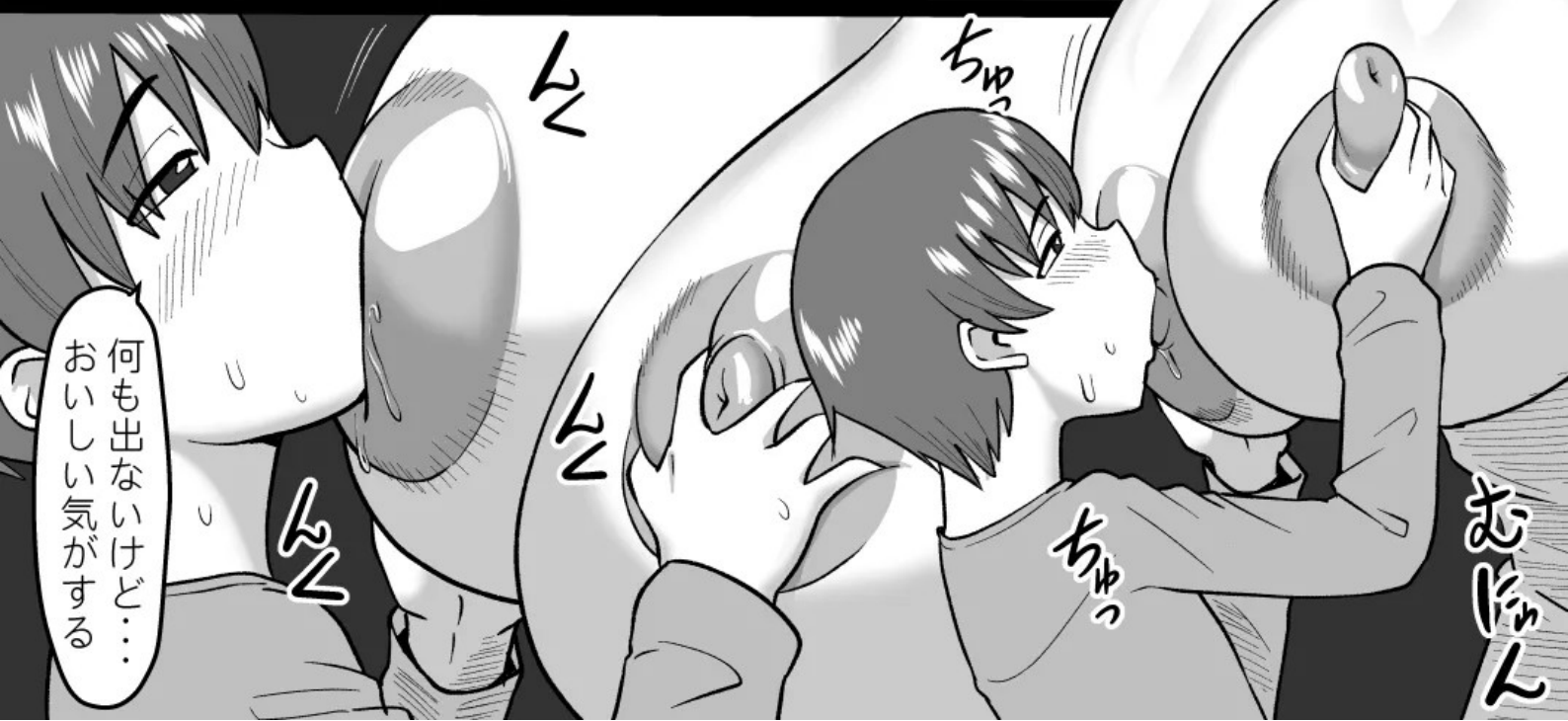






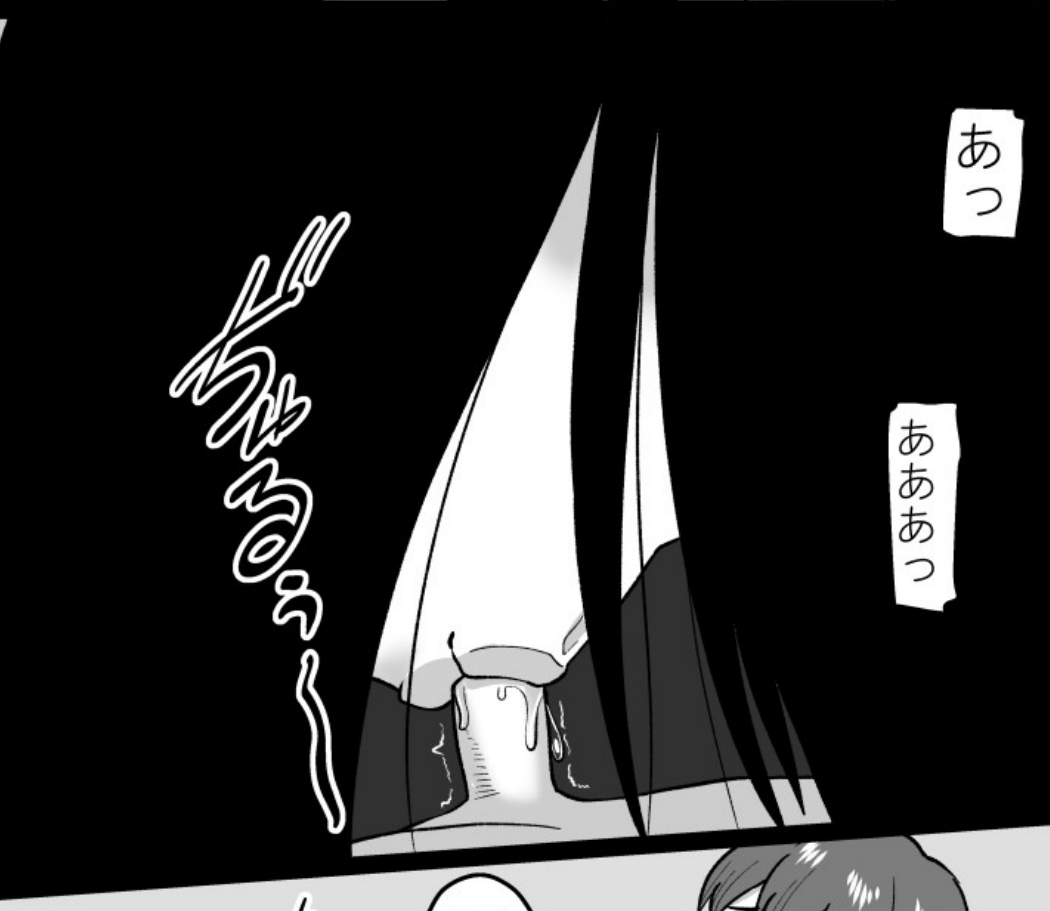


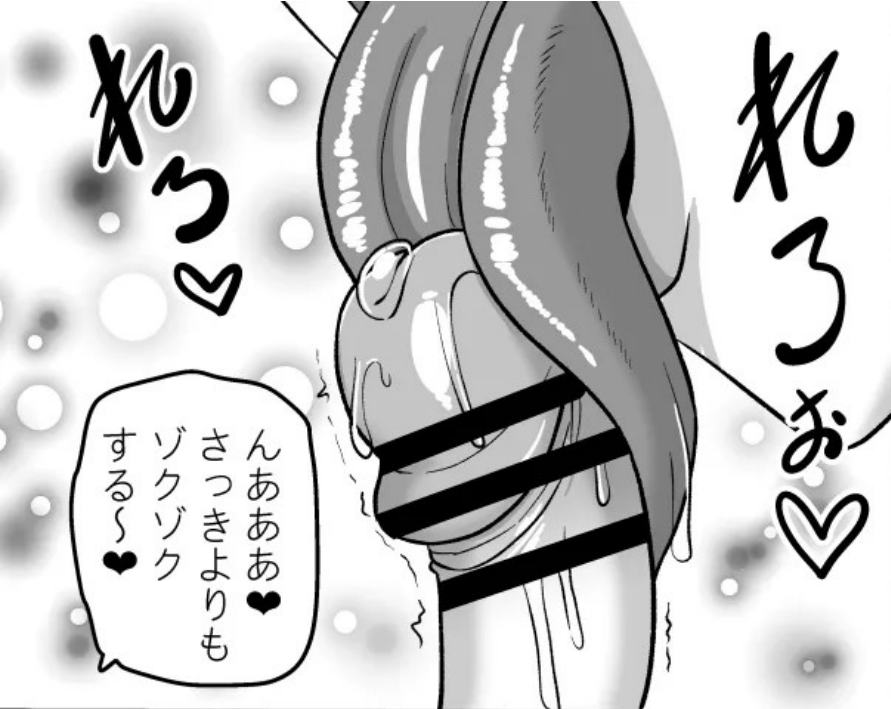














ぶ
びゅっ

ん
んっ！

びゅるっ

びゅる。

びゅる。

ぢゅる
ううう
ううう
ううう

はっ
あっ
はっ
はああ

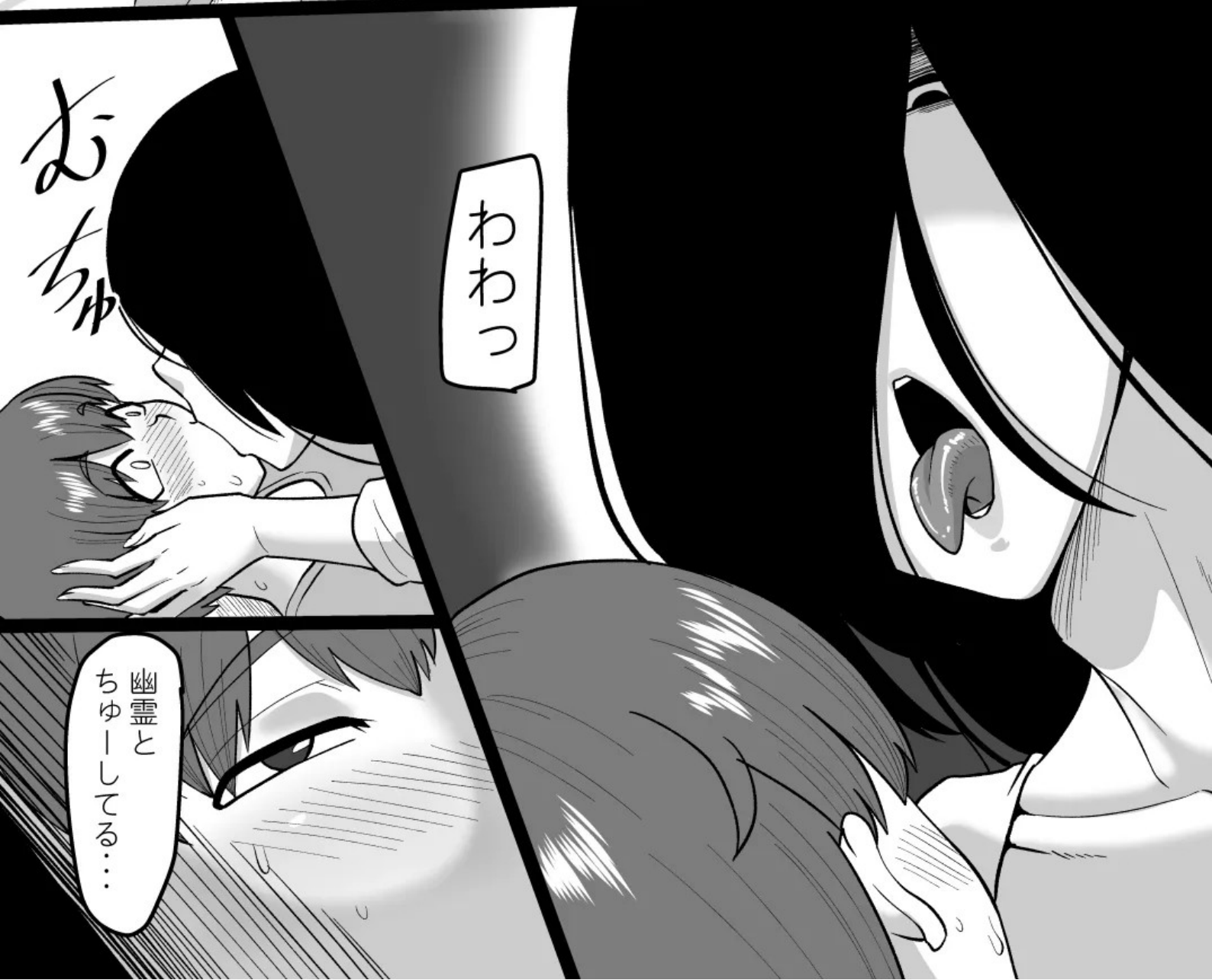
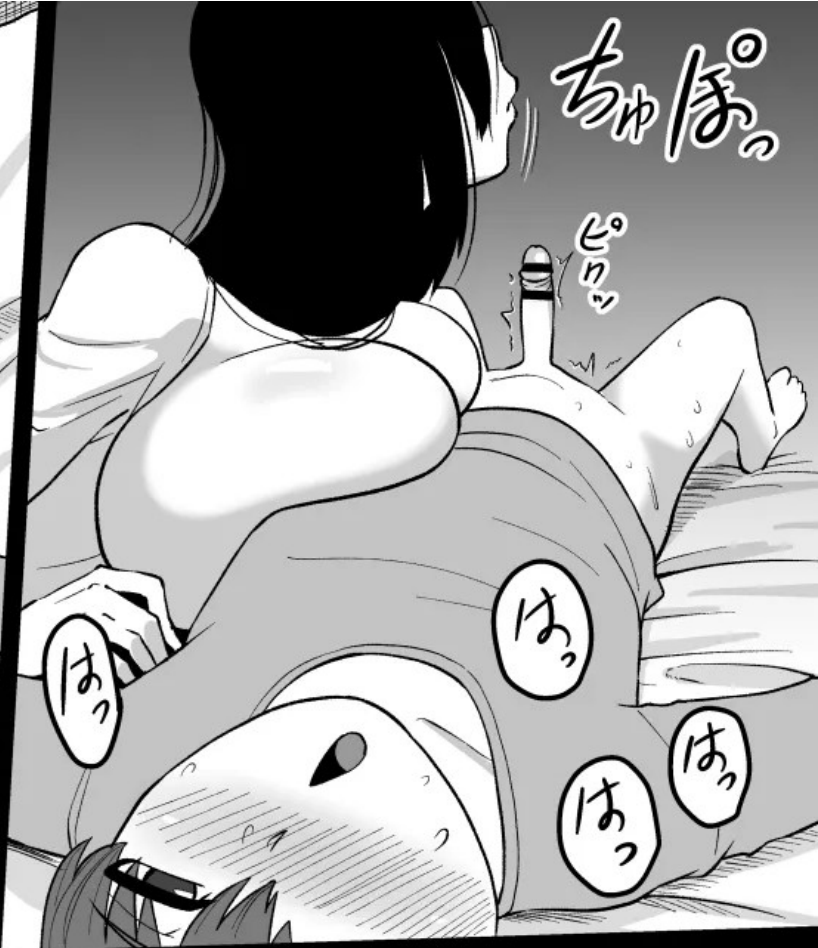
あうう

ああんっ

あひっ

びゅっ

びゅっ





残念に思う少年をよそに
数日経ち……

ほのかな期待を持つも
少年の前にあの女が姿を
現すことは無かった



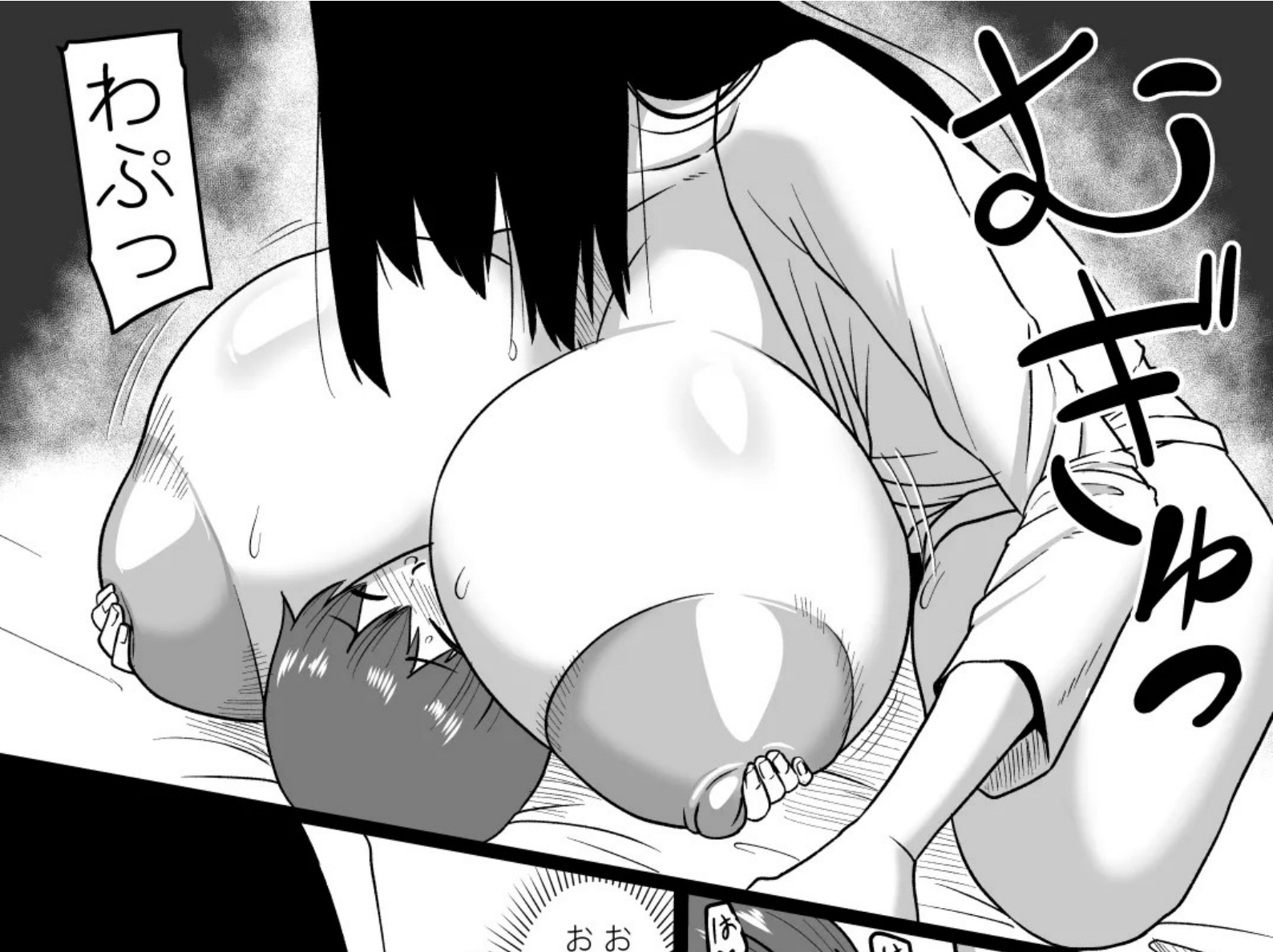


エッチなことを期待して
幼くも硬くなったら
ちんちんを出していた

少年は母親以外の女の股を
初めて見た
これから始まるであろう
行為は何も知らないが

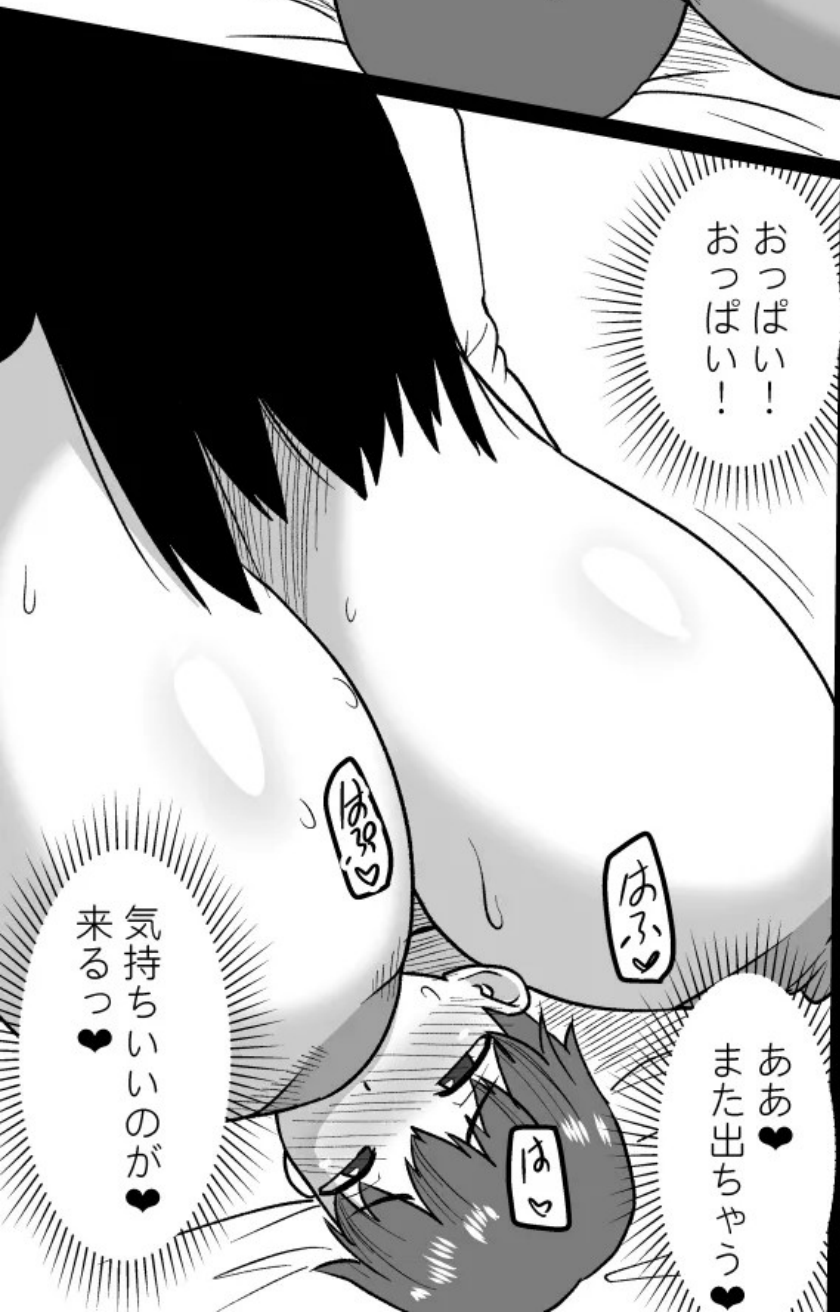




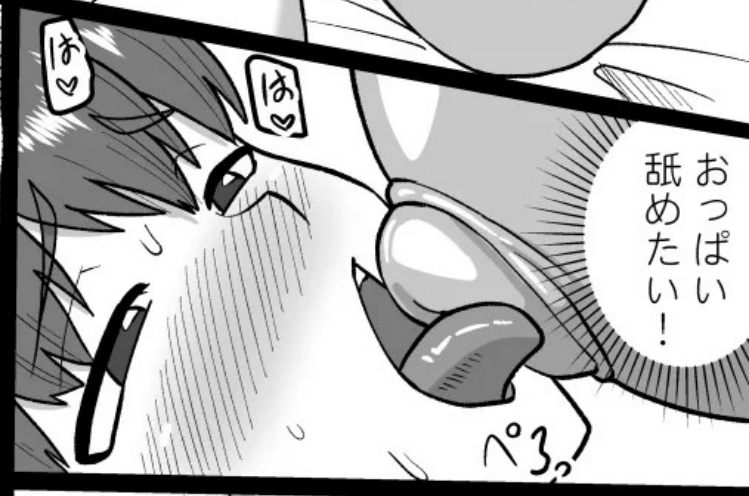


わぷっ

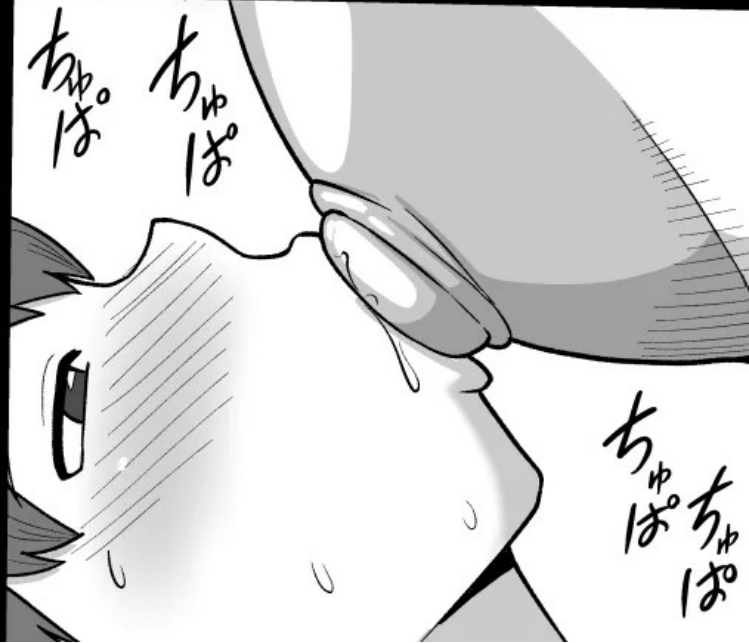
む
ずゅっ



おっぱい!
おっぱい!



おっぱい
舐めたい!



あぁ
ちゅぽ

ちゅぽ
ちゅぽ

あぁ
また出ちゃう

気持ちいいのが
来るっ

あっ！あっ♡
出ちやうつ！

またお姉さんの中に
気持ちいいの出ちゃうよ！
んうううううっ ♡

ズ
ン
ン

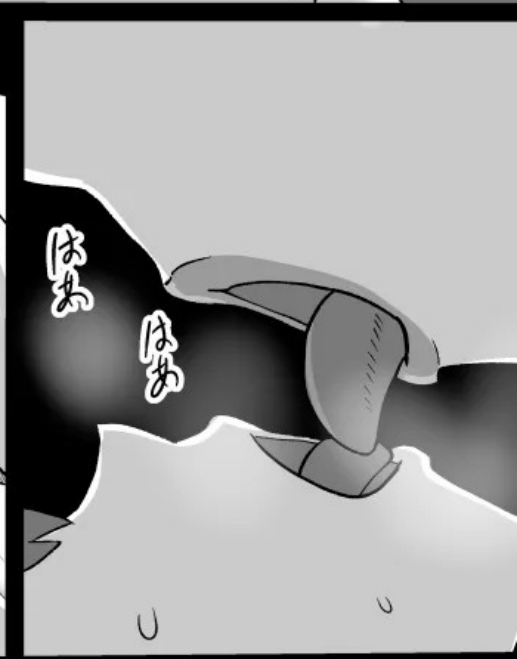
んあ♡

あ♡

あふ♡

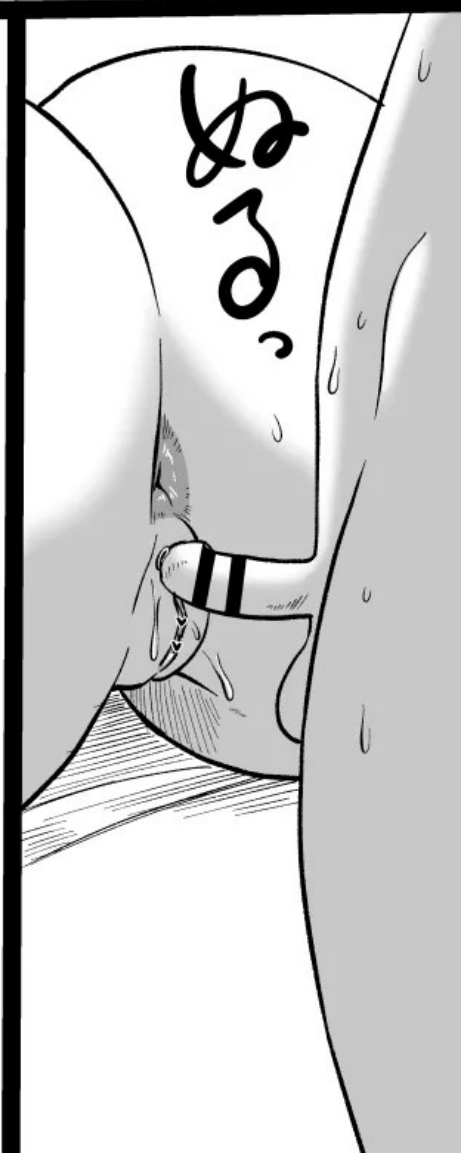
よう♡





その日から女は
少年の元へ頻繁に
現れるようになった





うう♡
お姉さんのお股
気持ちいい♡
ちんちん入ると
なんでこんなに
気持ちいいの？



んう♡
出るよお♡
気持ちいいおしっこ
出ちゃうよ♡

好きなだけちんぽを
擦りつけ
好きなだけ射精を
堪能している

少年は好きなように
できる女の身体に
夢中になっていった

ドッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ





おっぱいに
ぎゅうつてされるの
好き♡

たろ

たろ

たろ

たろ

たろ

あ♡

あ♡

は♡

おっぱいに
出ちやうつ♡

出ちやうつ♡

あぁ♡♡♡♡♡
あ♡♡♡♡♡

ぴゅん

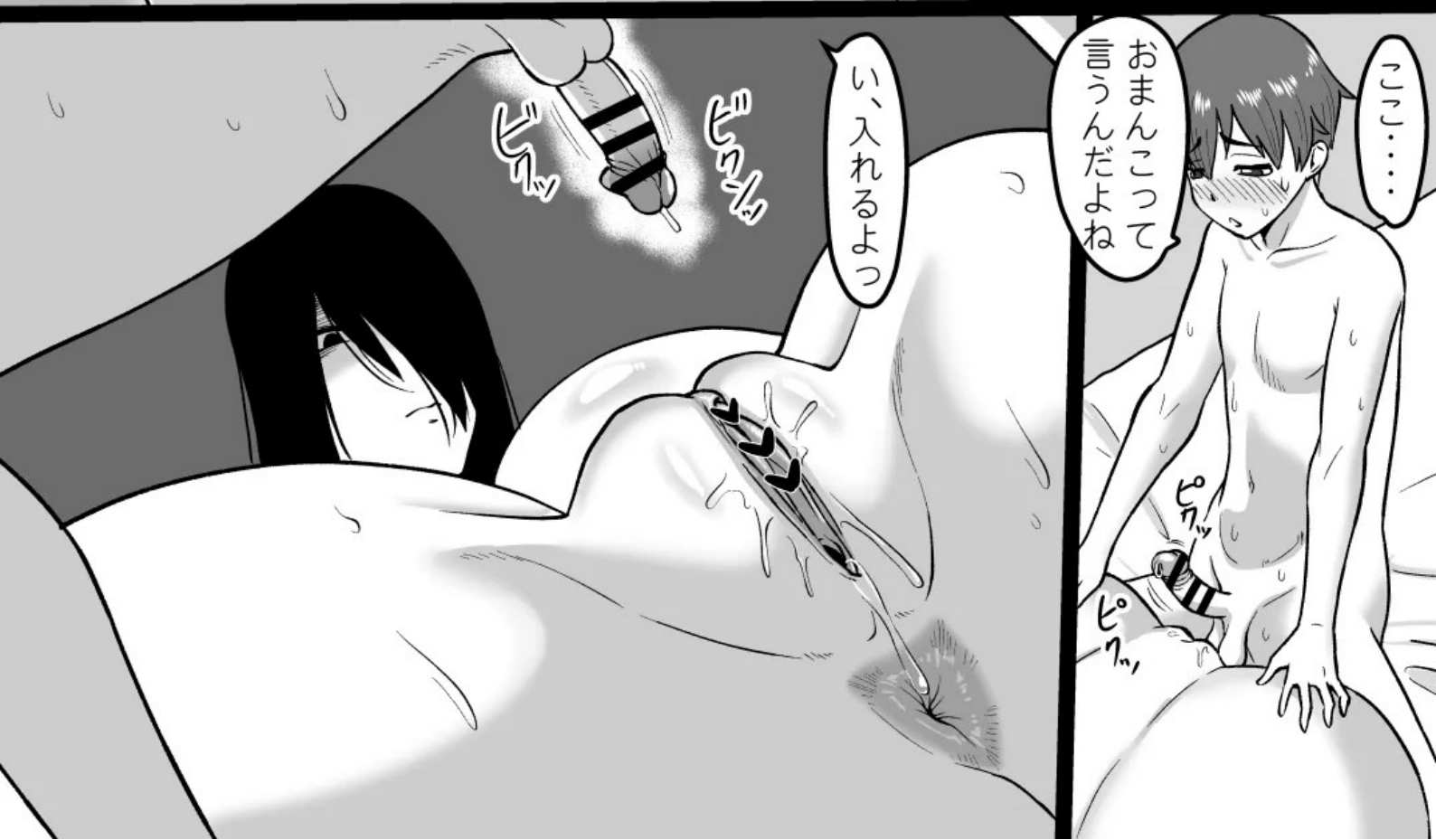
あ♡...♡

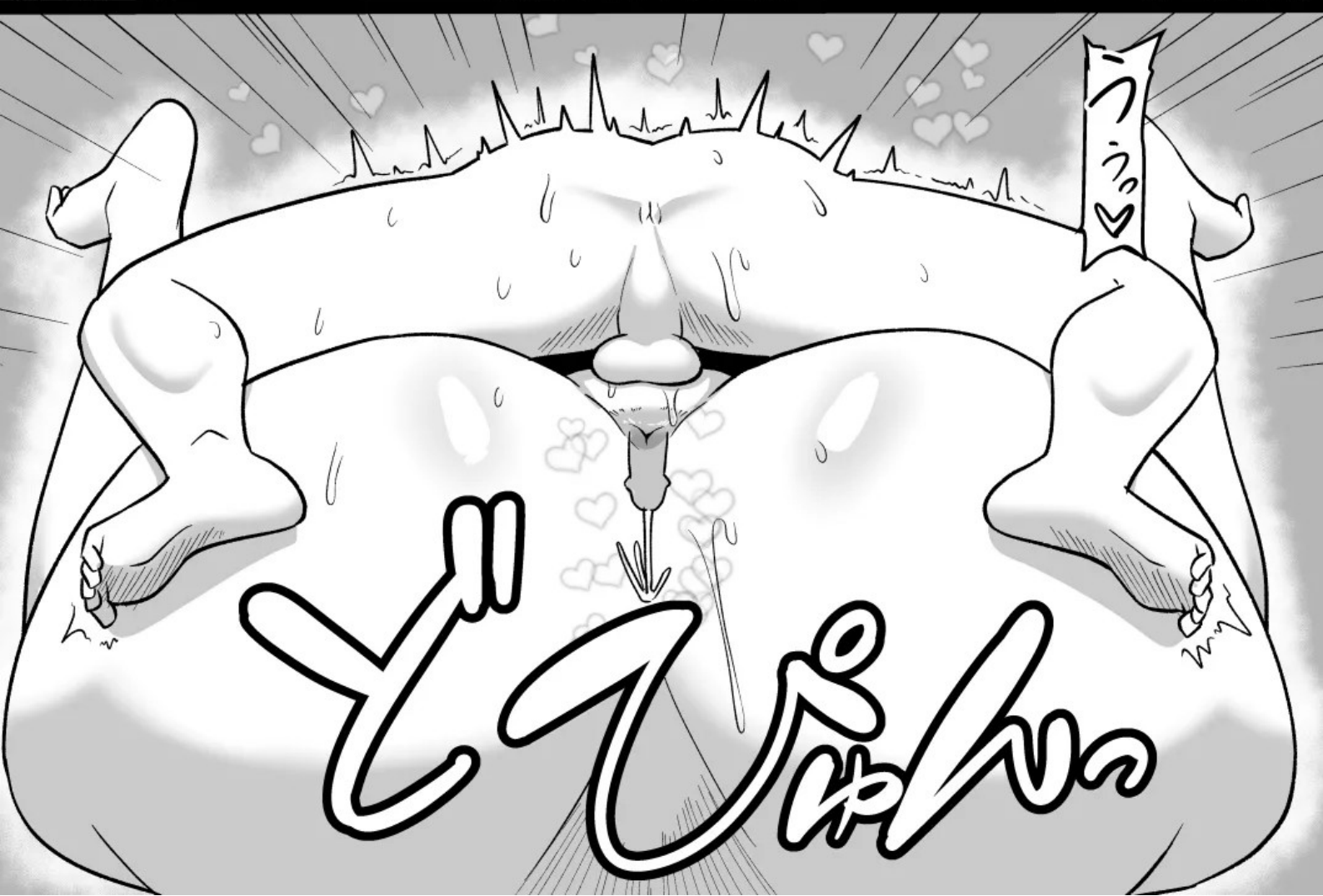
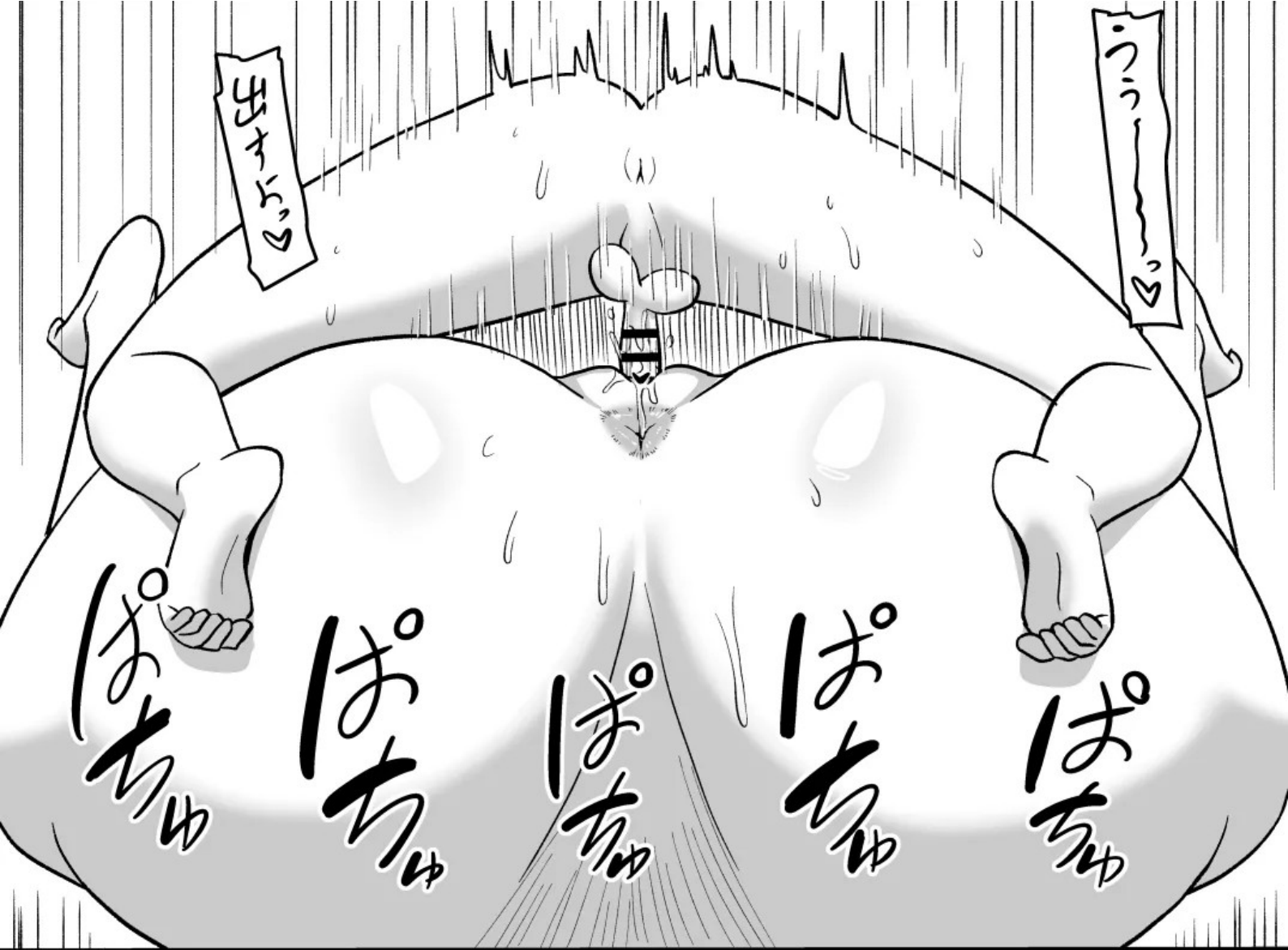
あ♡...♡



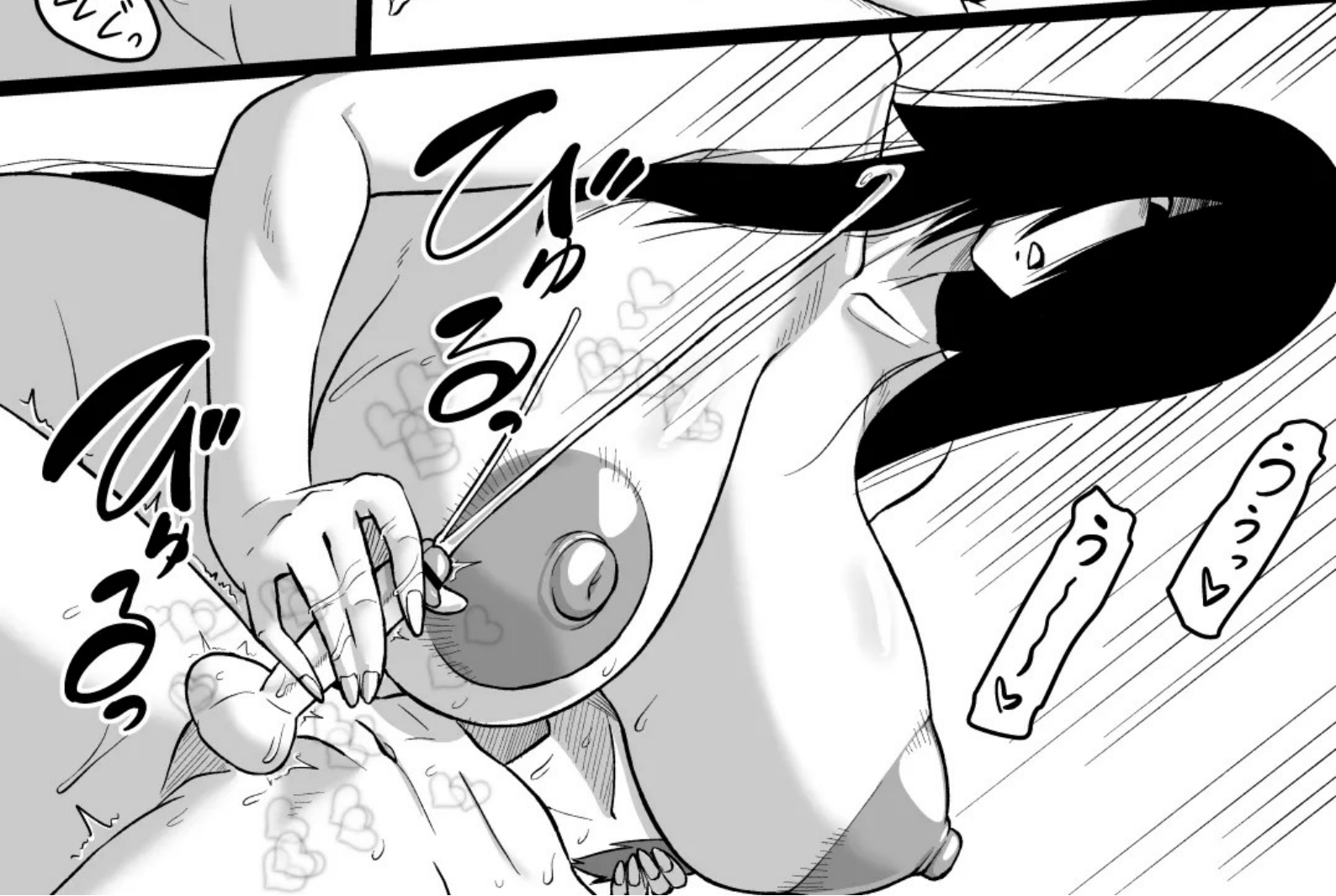




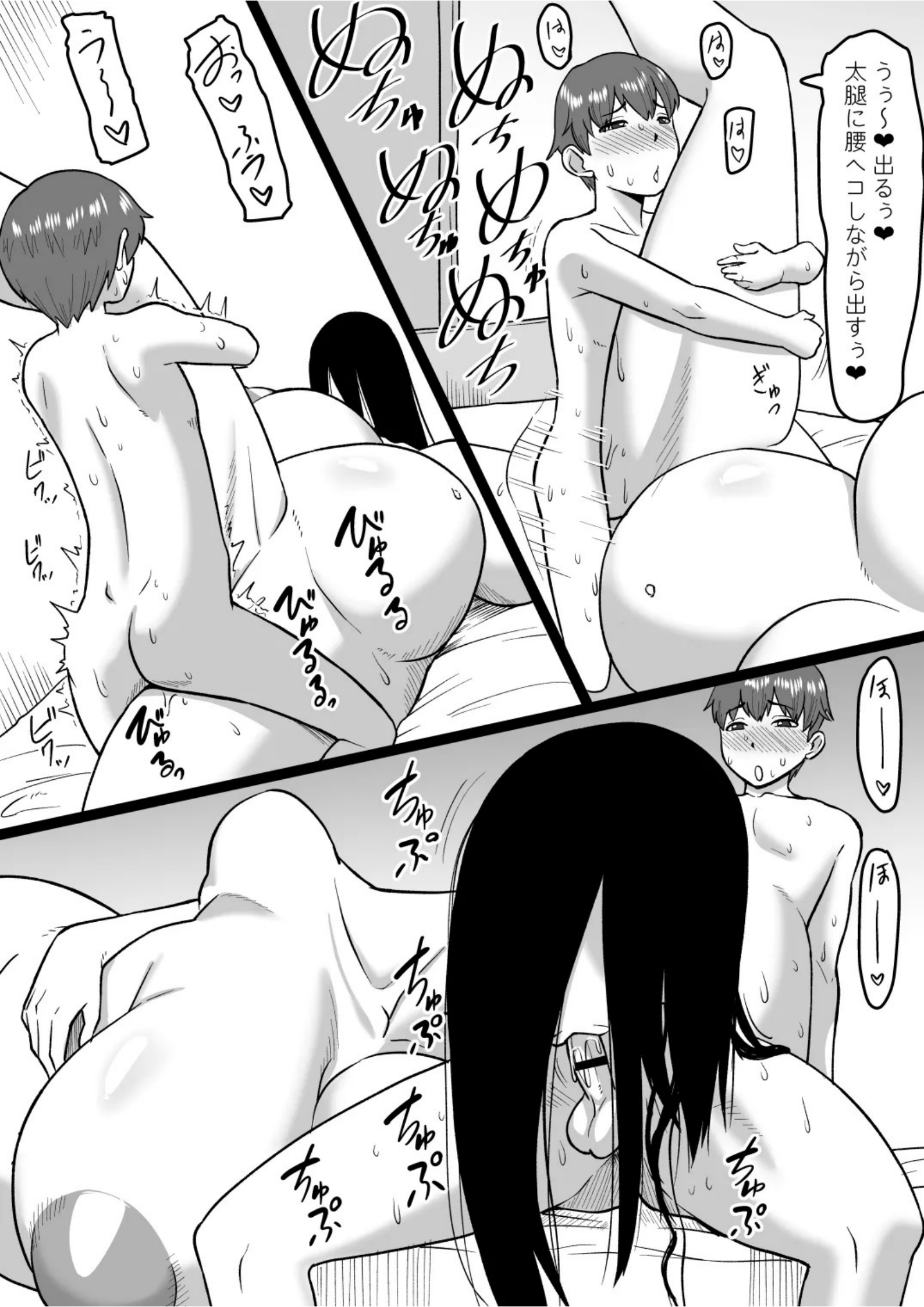












ううう♥出るう♥
太腿に腰へこしながら出すう♥

はー♥
はー♥

ぬちゅぬちゅ
ぬちゅぬちゅ
ぬちゅぬちゅ

あー♥ふー♥ふー♥

うー♥

ほー♥

ほー♥

ちゅぷ

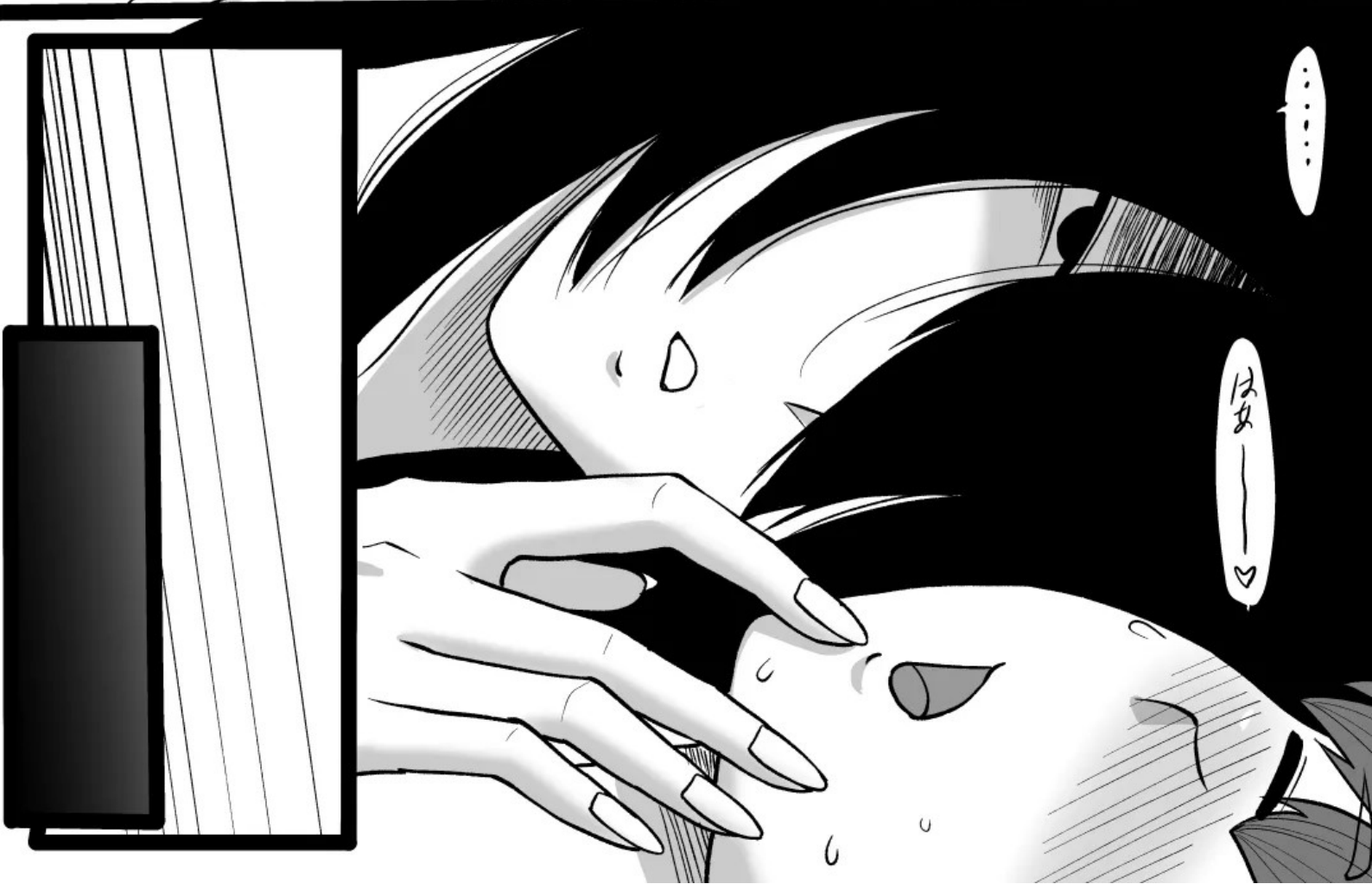
ちゅぷ

ちゅぷ

ちゅぷ

ちゅぷ

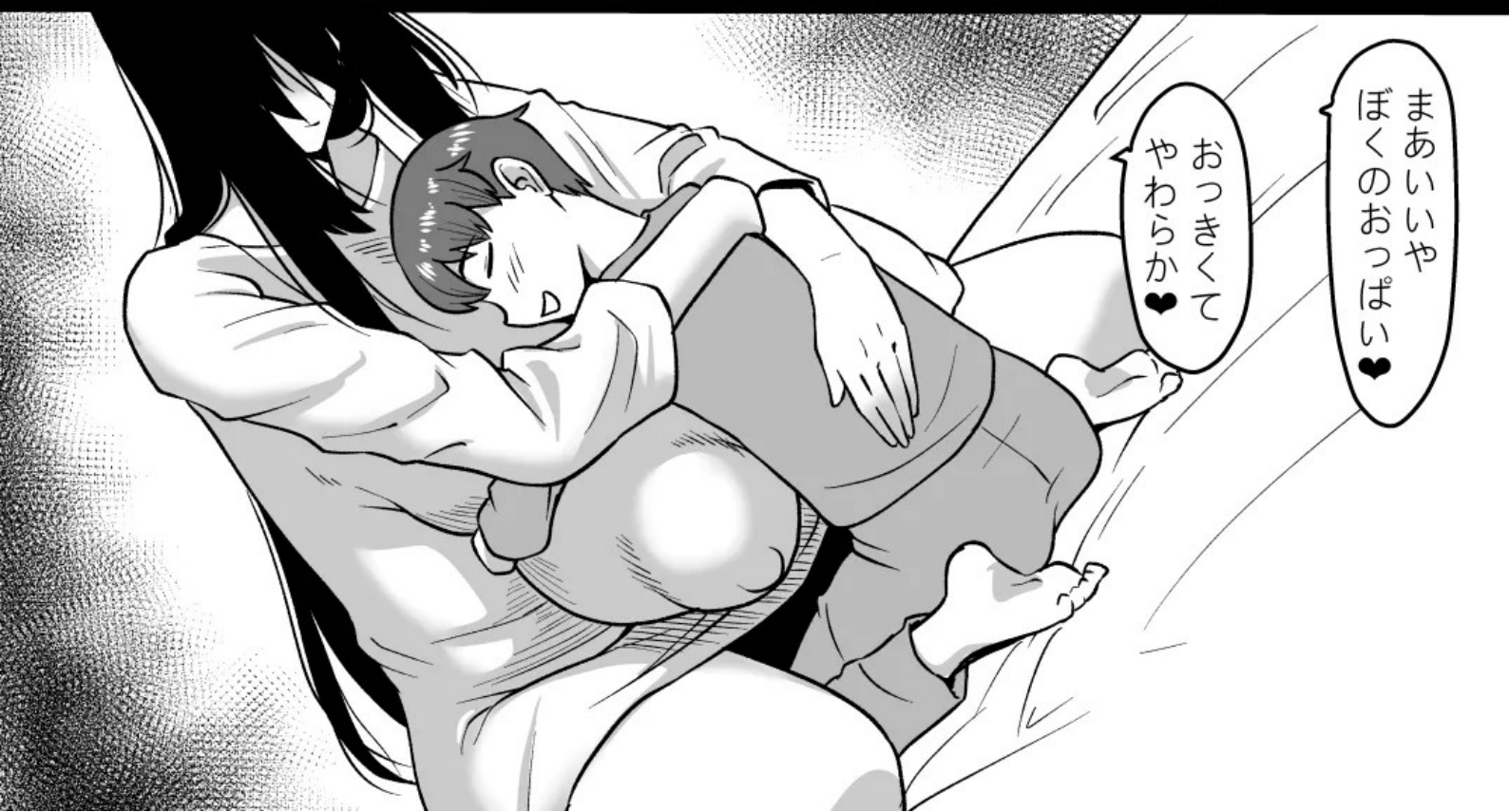
ぐわんぐわん
ぐわんぐわん
ぐわんぐわん





あ、あれ？
お腹が戻ってる？

不思議なことに
女の孕んだと思わしき
腹は以前と変わらぬ状態に
戻っていた
どこかで産んだのか、
そもそも孕んだわけでは
なかったのか……



まあいいや
ぼくのおっぱい♥

おつきくて
やわらか♥



もう
離さない♡